

一般質問

～ 3月定例町議会の一般質問では、5人の議員が質問に立ちました ～

平成28年2月、町立高等学校設置に向けての住民と意見交換会が開催され、町としては、地域振興



長野 章議員

問 町立高等学校設置断念に至った経過は？

答 懸念・課題解消に向けた高校像の構築が困難

と将来の担い手育成のためにも高校は必要とのことだった。平成28年6月の一般質問では、「専門員を配置し、その知識経験を活用しながら、学校像について調査研究を行う。庁舎内の検討委員会で、関係部署と連携し、状況や情報を共有し、行政全体で議論を深める」との答弁だった。その後、「町民の皆さんとの合意形成に向け、スケジュールや方針、戦略などしっかりと議論する」との説明であったが、今回、突然の町立高等学校設置断念に至った経過について伺う。

武田教育長
生徒確保に対する懸念や、地域連携体制構築の懸念、普通

科の高校とするのは無理があることなど、課題の解消に向けて検討してきたが、課題を解消できない新たな高校像を構築することは困難であり、町民の合意形成の見通しが立たないことから判断した。高校設置の目的として、教育の場の確保とともに町の将来を見据えた地域振興策の1つとして、その可能性を求めて検討してきたものであり、結果として進めることが困難となったものの、これまで検討してきたことには意義があったものと考えている。

経過や理由は広報紙やホームページで町民の方々にお知らせする。



若杉政敏議員

問 街の玄関口である拓鉄公園 思い切った整備を！

答 当初の思いも尊重、時間の流れも考慮して考える

の維持管理を繰り返して、20年が経過した。しかし現状を見ると、景観も含め生活の憩いの場としては不十分ではないか。自然を生かす取り組みには、社会教育の観点から賛同するが、その中で明るさ、安全性、衛生性等を確保するための整備を再度議論してもらいたい。他自治体の良い事例もある。拓鉄公園は街の玄関口に位置し、国道からの入口左右の整備も必要かと思われる。集客・交流の場としての屋内・屋外遊技場の設置等、町長の思い切った政策をお伺いする。

平成11年に「自然を守りつつ最低限の整備」として、拓鉄公園が完成し、幾多

浜田町長
拓鉄公園について